

株式会社 松屋 12月売上速報

※数値は速報値ですので、毎月中旬に発表する確定値と誤差が生じることがあります。

店名	売上高 対前年 増減率(%)	概況
銀座本店	-4.2	銀座店は、食品部門のクリスマス商戦において、ケーキが予約・店頭受注ともに好調に推移、また、惣菜・ワイン・生鮮三品が2桁の伸びを示しましたが、売上高は前年にわずかに届きませんでした。婦人部門では、衣料品においてニット等の売筋アイテムがあったものの、全体としては売上高は前年を下回りました。一方、婦人雑貨ではストール等の防寒商材が好調に推移、また、プレゼント需要において婦人アクセサリーの主要ブランドが好調に売上を伸ばしました。また、紳士部門では、マフラー・手袋などの雑貨の動きが鈍かったものの、催事『銀座の男』冬市』において防寒コートやスーツ等が好評に付き売上高は前年を超えました。店全体としては、引き続き前年のインバウンド需要の大きな反動もあり、売上高は前年に届きませんでした。浅草店は、惣菜・寿司弁当・化粧品・婦人雑貨が好調も、生鮮三品・和洋菓子・婦人衣料が伸び悩み、売上高は前年に届きませんでした。

※ 上記「銀座本店」の数値は、「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。

(ご参考)

銀座店	-4.2	「銀座店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。
浅草店	-4.2	「浅草店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。